令和6年 第8回産業建設常任委員会所管事務調査報告書

令和6年11月7日

別海町議会議長 西原 浩 様

産業建設常任委員長 今西 和 雄

産業建設常任委員会の所管事務の調査を実施したので、別海町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

《第8回》

1 日時

令和6年11月7日（木） 午前10時00分から午後3時00分まで

2 開催場所

現地及び委員会室4

3 出席委員

今西委員長、横田副委員長、松原委員、貞宗委員、伊勢委員

4 欠席委員

なし

5 委員外

西原議長

6 調査事項

- (1) 酪農工場の現状について
- (2) 酪農研修牧場について
- (3) ふるさと交流館について

7 説明員の職と氏名

産業振興部長 佐々木栄典、産業振興部次長 小野武史、農政課長 皆川学、
商工観光課長 掘込美穂 ほか

8 調査結果

【産業振興部所管事務調査】

(1) 酪農工場の現状について（現地調査）

- ・当初予算に計上されていた整備事業で更新されたサージタンクやクラリファイヤなどを確

認した。

- ・研修牧場から購入していた原料が大幅に減少したことから、今までどおり 1,800 トン～1,900 トンを確保するため、不足分はホクレンから購入している。
- ・現状の規模を維持し、福祉牛乳・学校給食向けも含め製品を提供していくとのこと。
- ◆安定した原料の確保と健全経営に努め、牛乳・乳製品PRの役割を担っていくことを、委員会として注視して行く。

(2) 酪農研修牧場について（現地調査）

- ・平成8年に設立以来、多くの新規就農者が巣立って行き現在に至っている。
繋ぎ牛舎とフリーストール牛舎の2本立てで運営していたが、コスト面や、新規就農後の経営形態を想定した研修に注力するため、繋ぎ牛舎1本で運営している。
本来の研修の場として内容の充実に向け、座学も含め放牧体験も視野に入れて運営している。
- ◆今までは酪農工場へ原料を提供する大きな役割も果たしてきたが、繋ぎ牛舎を選択したことで、本来の研修が充実することを期待する。
また、施設や機器に長らく手を加えていなかったことから、今後しっかりと予算計上し、大規模修理や更新などに対応する必要がある。
継続して調査を行ない状況を注視して行く。

(3) ふるさと交流館について

- ・観光に関するアンケート調査の結果について
 - *一般の回答は少なかったが、中・高校生の回答が7割近くあった。
 - *ふるさと交流館に関する回答も含め、まとめ次第委員会に報告することのこと。
- ◆今後は、アンケート調査の報告や庁舎内検討会議の進捗状況などについて継続調査をする。
なお、委員会協議会の中で、議会事務局から公共事業の入札に至る経緯等、町側の対応について詳しく説明を受け理解を深めた。
また、今後地域めぐり懇談会で出された町民の意見も調査に取り込んで行くことも確認した。

以上